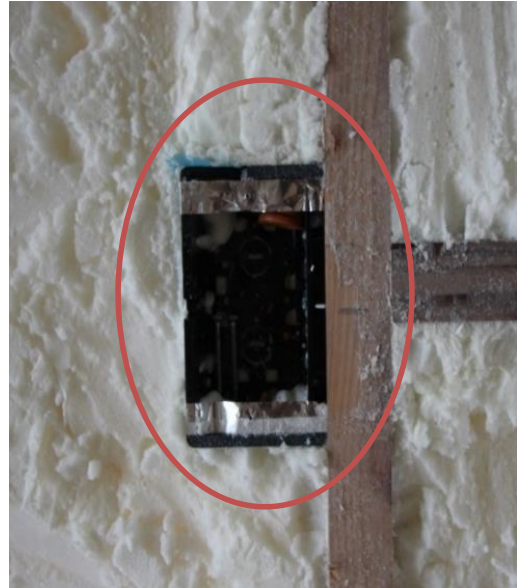


ワダハウジングの特長④

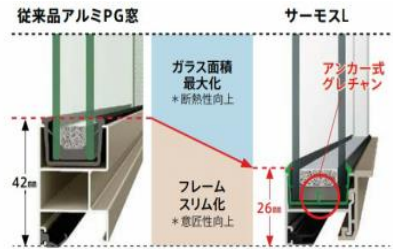
高気密はすべてのサッシをペアガラスにして隙間なく吹付け断熱工事で高気密に包み込んであります



フレームをスリム化し ガラス面積最大化

窓の断熱性能を高めるためには、熱を通しやすいフレームを小さくし、熱を通しにくいガラス面を大きくする必要があります。サーモスは、アンカー式グレチャンを採用することで、ガラスとフレームを一体化。フレームの極小化とガラス面積の最大化により、優れた断熱性能を実現しています。

特許第5863228号, 特許第5394295号



※画像は引違い窓の概観です。

ダクト、コンセントのまわりも隙間なく包み込んであります。

アルミと樹脂のハイブリッド構造で、断熱性能が大きく向上。

【一般複層ガラス】

熱貫流率
3.49
W/(m²・K)
以下相当

【Low-E複層ガラス】

熱貫流率
2.33
W/(m²・K)
以下相当

※平成25年省エネルギー基準 建具とガラスの組み合わせによる開口部の熱貫流率 (一般複層ガラス/Low-E複層ガラス(空気層10mm以上))

LIXIL

高性能ハイブリッド窓 サーモスL

SAMOS L



高断熱を追求し ガラス高性能化

2枚のガラスと中空層で断熱効果を高める「一般複層ガラス」と、特殊金属膜の効果で一般複層ガラスの約2.0倍の高い断熱性を発揮する「Low-E複層ガラス」の2タイプをご用意。オプションで、熱伝導率の低いアルゴンガスの封入も可能です。



ハイブリッド構造で フレーム高性能化

室外側に耐久性や強度に優れたアルミを採用し、雨、風、日差しによる劣化を防止。室内側には断熱性に優れた樹脂を採用し、熱の出入りを抑えます。

